



木を伐る仕事



木を伐る仕事って
楽しい!!

スサチップ工業株式会社
素材生産チーム
あきひろ そうへい
秋廣 颯平さん

どうしてこの仕事を選んだのですか？

元々自然が好きだったので、中学2年生の時に三浦しんさんの「神去なあなあ日常」という本に出会い、「林業」という仕事を知り興味をもったのがきっかけですね。

普段はどんな仕事をしているのですか？

高性能林業機械や林業架線等を使って、木を伐採し、丸太にする仕事をしています。島根の自然の中で森林資源を無駄なく有効利用しています。大径木を簡単に持ち上げる重機の操作も楽しいです。

今後の目標はありますか？

学び成長していくことですね！素材生産には、「伐採」や「集材・集積」、「造材」などの多様な仕事がある中で、自分の得意分野として「伐採」を極めていきたいと思っています。

MESSAGE 日常生活の中で見かける機会の少ない仕事だと思えます。興味を持ったら一度見学に来てほしいです。自然の中で働くって気持ちいいですよ！

秋廣さんにとって

「木を伐る仕事」とは？

僕たちの仕事で生い茂った山林が拓けていく、ダイナミックさにやりがいを感じます。



水津さんにとって

「木を使う仕事」とは？

長い年月をかけて育まれた木が、私たちの手で「商品」になることに奥深さを感じますね。



どうしてこの仕事を選んだのですか？

地元が好きで「津和野町から地域に貢献できる仕事をやりたい」と思ったからです。製材業は、自分で考えて試行錯誤したり、経験を積んで技術を習得したりできる仕事で、そこも魅力でした。

普段はどんな仕事をしているのですか？

丸太を目的の形になるようにカットしたり、木の中の水分を乾燥させたり、表面がツルツルになるように磨いたりします。製品を出荷しても良いか、検査するのも大切な仕事ですね。

今後の目標はありますか？

質の高い材木をつくることです。曲がりや節といった木ごとのちがいを見極めて加工する。熟練した職人の目や技術を習得したいです。その上で、作業の効率性を上げていきたいです。

MESSAGE 森に関わる仕事って、身近に感じにくいですよね。僕は自分の価値観に合うか、楽しんで働けそうかといった点で決めました。

木を使う仕事



木を使う仕事って
奥深い!

佐々木馬一商店
津和野工場
すいず れい
水津 黎さん

木を植えて育てる仕事



木を植えて育てるって
「循環」を作っていく仕事!

大田市森林組合
育成チーム
わた ともや
和田 朋也さん

どうしてこの仕事を選んだのですか？

「田舎の暮らし」に憧れを持っていた中で、林業で働くことを選んだ人の話を描いた「神去なあなあ日常」という本を読み、林業への思いが強くなり、1ターンでこちらに就職しました。

普段はどんな仕事をしているのですか？

苗を植える前の準備「地ごしらえ」から植樹、木が育ちやすいように環境を整える下刈りや間伐までを行います。「どの木を残すか」を考えて間伐するなど、森林の育成戦略を立てながら作業をしています。

今後の目標はありますか？

自分自身の成長はもちろん、新しくやってきた人に技術を正確に伝えていく「後継育成」にも力を入れたいですね。森づくりの技術を未来へ繋いでいくことが大切だと思っています。

MESSAGE ゼロからの入職でしたが、仕事を教えてもらう中で「経験の有無ではなく、その後に積み重ねていくことが大切だ」と知りました。

和田さんにとって

「木を植えて育てる仕事」とは？

森を正しく循環させることで町や人々の生活を守っていく。やりがいのある仕事です。

